

## 報告事項 1

### ●平成29年度事業実施報告（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

平成29年度の協会運営は、平成29年の定時社員総会で承認された事業計画と予算に則り、公益社団法人として、代表理事会長・理事副会長のもと理事会の執行機関として8つの「委員会」を設置し、各「委員会」ごとに責任を持って事業を推進し、全体を調整する機関として「総括運営委員会」を置き、当協会の理念に基づき、多岐にわたる協会の事業を具体的に効率よく実施し、収支ともほぼ予算内で行いました。

#### A. 公益事業

##### 1. 日本写真協会賞の平成29年表彰及び平成30年選考【表彰委員会】

###### ○平成29年対外発表及び表彰式、展示会の実施

- ・我が国の写真文化活動に顕著な功績が認められた内外の個人、団体をはじめ、前年に優れた作品・評論を發表された方々の中から2月22日に各賞の受賞者を選出し、3月17日の理事会で決定して、平成29年日本写真協会賞を、4月13日にカメラ記者クラブで対外正式発表しました。又、関係諸機関・一般紙報道機関や公共機関には、ニュースリリースを配布して広く写真愛好家に告知するべく広報活動にも注力しました。
- その後、表彰式を、6月5日午後5時30分より三田の笹川記念会館で開催し、引続き同館レストランで受賞者祝賀会パーティーを東京写真月間レセプションと兼ねて開催し200名の方々に参加いただきました。
- ・受賞作品展は六本木の富士フィルムフォトサロン東京で6月2日～8日に開催し、六本木という場所柄もあり、会員や写真愛好家以外にも多くの方々に受賞者の受賞内容を鑑賞いただきました。

###### ○平成29年受賞者及び受賞理由(敬称略、五十音順)

###### ☆作家賞：有元伸也

一貫して人間に眼を向け、精緻かつ大胆に捉えてきた写真世界を写真展・写真集「TOKYO CIRCULATION」に成就させた。写真の力そのものを信じ長年続けてきた作家活動に対して

###### ☆作家賞：大西みつぐ

1970年代から主に下町をテーマに確かな批評性をもって時代の変化を抽出し続け、さらに近年では写真集『川の流れる町で』や映画制作などを試みている。その広がり続ける長年のライフワークに対して

###### ☆新人賞：鶴崎然(もゆる)

「海を渡って」は日本における移民と難民の現在という忘れられがちな現代史の側面を丁寧に掘り下げ、日本とは何かを問いかけている。その良質なドキュメンタリー作品に対して

###### ☆新人賞：横田大輔

デジタル時代の写真表現の可能性に果敢に挑み、そのスピード感と作品のクオリティによりグローバルに活躍している。その将来を嘱望される作家活動に対して

###### ☆国際賞：ボストン美術館

3.11を題材にした日本の写真家15人による作品展「In The Wake」は、写真というメディアが3.11という壮大なテーマに対して果たしうる役割がいかに大きいかを知らしめた。その功績に対して

###### ☆功労賞：江成常夫

人間や社会と真正面から向き合い、洞察力のある眼差しで日本の負の歴史や現代社会が抱える問題を捉え、広く社会に訴え続けてきたその長年の作家活動に対して

###### ☆学芸賞：高橋しげみ

写真家の故郷青森で、同じ故郷をもつ者として作品と鑑賞者をつなぐ役割を担い、写真における「場」の重要性を改めて示した「生誕80周年 澤田教一：故郷と戦場」展をはじめとする卓越したキュレーションに対して

###### ☆学芸賞：鳥原学

写真評論家として長年にわたり雑誌の連載やワークショップの開催、キュレーション活動などを通して若い写真家を励まし、広く写真愛好家に写真の魅力を伝えてきた。その活動に対して

## ○平成30年受賞者の選考

平成30年日本写真協会賞の選考は、恣意的な選考に陥らないよう、会員及びノミネーターから昨年末までに候補者の資料を広く収集し、平成30年2月22日(木)、5名の選考委員による「選考会」を開催し、作家賞1名、新人賞2名、国際賞1名、功労賞1名と1団体、学芸賞1名の受賞者を内定致しました。

これを平成30年3月16日開催の理事会で承認決定し、年度の改まった平成30年4月17日に对外発表。

### ○選考委員 (敬称略、五十音順)

織作 峰子(写真家)、小原 真史(キュレーター・映像作家)、佐々木秀人(日本カメラ編集長)

中里 和人(写真家)、野町 和嘉(写真家)

### ○平成30年受賞者及び受賞理由(敬称略、五十音順)

#### ☆作家賞：潮田登久子

実直な眼差しと並外れた集中力と持続力、そして探究心の深さを、美しいプリントによって今の時代に蘇えらせた三部作『先生のアトリエ』『みずず書房旧社屋』『本の景色』は、長い時間をかけて撮影をされた力作であり、写真との向き合い方の真髄を教える。

#### ☆新人賞：奥山淳志

写真集・写真展「弁造 Benzo」は、北海道の原野にひとり暮らす開拓農民弁造さんの控えめで濃密な日常空間をめくりながら、写真表現の新たな地平を開いた。その確かな手応えを感じさせる作品に対して

#### ☆新人賞：佐藤岳彦

圧倒的な画質力、クオリティの高さによる高精細かつ美しい作品群は、従来の野生生物写真の既成概念を打ち破る。新しい野生生物写真家のスタイルを歩むその活動に対して

#### ☆国際賞：サンドラ・フィリップス

サンフランシスコ近代美術館写真部門のキュレーターとして、長年に渡り「日本写真」の収集・研究・展示を継続的に行い、世界の写真史の中に日本の写真家を位置付け、広く紹介してきた活動に対して

#### ☆功労賞：斎藤寿雄

長年に渡り銀塩モノクロームプリントを中心に、数多くの写真家のプリントを手掛け作家の個性を最大限に引き出し、プリンターとして写真家の足元を支え続けてきた計り知れない功績に対して

#### ☆功労賞：ニコンサロン

50周年を迎えたニコンサロンは、これまで4000回にも及ぶ展示を重ね、その「写真文化活動」は日本の写真家の育成に大きく貢献し、裾野を広げてきた。日本写真形成の重要な一翼を担ってきた稀有な活動に対して

#### ☆学芸賞：竹葉 丈

名古屋市美術館学芸員として、地元・名古屋の「芸術写真」や「新興写真」の掘り起こしを継続的に行い、2017年の「異郷のモダニズムー満洲写真全史」展では、知られざる満洲写真のフロンティアを開拓した。日本写真史研究の充実に貢献をした活動に対して

## 2. 「東京写真月間2017」の開催と「大阪写真月間2017」への協賛 【写真月間委員会】

今年で創設22年目を迎えた「東京写真月間2017」は、当協会及び東京都写真美術館共催、外務省、環境省、文化庁、東京都、在日本カンボジア王国大使館の後援、26の企業の協賛、YUKI TORIIの特別協賛、その他多くの協力・特別協力を頂き、5月23日から約6週間にわたって開催し、延べ入場者数33,798人を数え、7月7日好評のうちに終了しました。また地方巡回展は、北海道東川町、新潟市、福島市、長野県小諸市、名古屋市、大阪市、福岡市での展示開催いたしました。

## ○国内展「日本を愛する外国人たち」-日本に在住する外国人が見た日本の自然と文化 総入場者数 7,400名

日本を訪れる外国人観光客が年々増え、特にここ数年の伸びは目を見張るものがあり、政府も2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて年間4千万人の観光客呼び込みを計画するなど、今は様々な分野で日本への関心が高まっている。そのような背景の中、以前から日本に在住しながら日本の風土や文化に興味と関心を持った外国人たち

の写真作家活動にフォーカスをあて、独特の視点と感性で我々日本人が気づかないような瞬間をみずみずしく捉えた4人の写真家・アマチュア写真家による写真展を開催し大変好評を博した。

その後「写真の町」東川町文化ギャラリー 6月29日～7月7日、福島テルサ 12月22日～28日、九州産業大学美術館平成30年2月7日～14日を巡回致しました。

#### カンケ・ブルノ写真展「サラリーマン プロジェクト」(フランス)

オープンギャラリー(キヤノンSタワー2F) 5月26日～6月12日 入場者数 2,600名 (15日間)

日本のサラリーマンの生態を丹念に撮影したスナップ写真を四季の移り変わりを軸にする写真で構成し、大中小など4種類のサイズの違う写真109枚を巧みに組み合わせ、本人自ら写真月間の企画に参加するに機会に合わせ「新しいソーターン」で壁面の構成をした力が入った写真展で、日本人の感覚と一味違った日本のサラリーマンの神出鬼没?な生態は来場者の関心を呼んでいた。

#### エドワード・レビンソン写真展「タイムスケープス・ジャパン」(アメリカ)

オリンパスギャラリー東京 5月26日～31日 入場者数 1,600名 (6日間)

今回の出展作家の中で、日本在住が一番長いエドワード・レビンソン(アメリカ)は、1979年から日本に移り住み母国より長く日本に生活している写真家で、写真の原点であるピンホール写真と1990年代に出会い、ライフワークとしている。「タイムスケープス・ジャパン」では日本の自然と共生する里山、寺社、沿岸地帯、山林風景などと、新しく東京の街々を独自の感覚で表現し、心象的に捉えた写真はまさに日本の「原点」を表現した見ごたえのある作品で、動画の作品も披露し多くの来場者で賑わった。

#### ジェレミ・ステラ写真展「東京の家」(フランス)

エプソンイメージングギャラリーエプサイト 5月26日～6月8日 入場者数 2,200名 (12日間)

6月3日15:00～ジェレミ・ステラ×小林美香(近美学芸員)トークイベント開催

東京の広大な都市空間の中で、作家が見つけたユニークな家が被写体となっている。これらの多くは著名な建築家によって設計された建物で、建築家自身の思いが表現されている。これらのユニークな建物を単なる建築写真として捉えるのではなく、人との関わりが重要と考える作家の思いが、東京という野外劇場の中で建築写真とストリートフォトを見事に両立させた秀逸な作品で、セミナーも開催し多くの聴講者で盛況であった。

#### セッタポン・トリチューブ写真展「日本の心」(タイ)

パナソニックLUMIX CLUB PicMatePHOTO GALLERY 6月1日～21日 入場者数 1,000名 (15日間)

アマチュア写真家ながら多忙の中、日本とタイの風景写真を丹念に撮影している作家である。本人は初の個展としてのデビュー作品でもある今回の「日本の心」では、こまめに日本各地を訪れた風景写真の中から、日本の伝統芸能の躍動的な「祭り」と、富士山の千変万化を特有の感覚と感性で豊かに捉えた作品で、普段日本人の多くが知らない目にしないようなシーンも多く含まれ来場者の感嘆の声が聞かれた。

### ○国際展「アジアの写真家たち2017 カンボジア」

総入場者数 11,200名

国際企画展「アジアの写真家たち2017カンボジア」展を、「Toward The Prosperity of Cambodia」と題して6名の写真家・フォトジャーナリストにより3カ所のギャラリーで開催した。日本人観光客も多く訪れるアンコールワットで有名なカンボジア王国は、ポルポト政権下の苦難の時代から近年立憲君主制を確立し今日に至る中で、写真界ではドキュメンタリー、ネイチャー、アート写真に多彩な才能を持つ若手の写真家が台頭してきている。今回参加した写真家・フォトジャーナリスト達は1980年代生まれを中心とした、カンボジアで活躍している若手メンバーで、中にはドローンを使用した作品と動画を展示する作家もいてドキュメンタリー、ネイチャー、アートの才能を披露した力作で3会場とも、知られざるカンボジアの一面を見る多くの来場者で賑わった。

#### 「Toward The Prosperity of Cambodia」

新宿ニコンサロン 5月23日～6月5日

入場者数 3,200名 (14日間)

展示写真家:PHILONG SOVAN / PHALINA

#### 「Toward The Prosperity of Cambodia」

ソニーイメージングギャラリー 5月27日～6月16日

入場者数 5,000名 (21日間)

展示写真家:MARDY SUONG / KIMLONG MENG

「Toward The Prosperity of Cambodia」

キヤノン オープンギャラリー1 (キヤノン Sタワー2F) 5月26日～6月12日 入場者数 3,000名 (15日間)

展示写真家:REMISSA MAK / SAMPHOS JACKY

○「東京写真月間 2017」特別企画展

日本・モンゴル外交関係樹立 45周年記念特別企画展 入場者数:400名(10日間)

「モンゴルに魅せられて」-清水哲朗とモンゴルの仲間たち- ふげん社 6月6日～17日

日タイ修好 130周年写真コンテスト入賞作品展「あなたのタイをみせよう」 入場者数:1,500名(6日間)

募集期間 7月1日～9月29日 応募点数 300点 テーマ ①タイの風景 ②タイの文化

展示期間 ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1 12月12日～18日

主催 タイ国政府観光庁 共催 日本写真協会 東京写真月間実行委員会

協力 (株)ニコンイメージングジャパン 後援 在東京タイ王国大使館

青春 18きっぷポスター紀行展 高知県立文学館開館20周年特別企画展 6月3日～25日

○「写真の日」記念 公募による写真展 2017

みどりのiプラザ 6月16日～21日

入場者数 1,500名(6日間)

応募人数 917名、応募枚数 2,339点の中から外務大臣賞・環境大臣賞・優秀賞・協賛会社賞(43社)など合計 254点展示。

選考委員:山口規子、湊 和雄、(公社)日本写真協会

表彰式: 6月18日 100名

「写真の町」東川町文化ギャラリー6月29日～7月7日、富士フォトギャラリー新潟7月21日～8月3日、富士フィルムフォトサロン大阪11月3日～9日、HCLフォトギャラリー名古屋10月11日～23日、福島テルサ4Fギャラリー12月22日～28日、小諸市立小諸高原美術館市民展示室12月1日～20日、九州産業大学美術館平成30年2月7日～14日の7か所を巡回しました。

○「1000人の写真展《わたしのこの一枚》」

ヒルトピアアートスクエア 6月8日～12日

入場者数 1,000名(5日間)

※世界各国に配布する総務省発行統計本「STATISTICAL HANDBOOK OF JAPAN 2017」に6点選出掲載。

○共催展「G サミット 2017」(日本フォトコンテスト協会、NPO 法人フォトカルチャー倶楽部)

みどりのiプラザ/ギャラリー1 5月30日～6月14日

入場者数 1,800名(22日間)

全国各地の 150 を超えるフォトコンテストのグランプリ作品だけを一堂に展示。

○日本写真協会賞受賞作品展

日本写真協会賞受賞作品展を6月2日～8日、東京六本木の富士フィルムフォトサロンで開催しました。

入場者数 10,244名(7日間)

○レセプション

6月5日 午後6時40分より三田の笹川記念会館レストランで、日本写真協会賞受賞者祝賀会、叙勲・褒章受賞者祝賀会と東京写真月間オープニングセレモニーを兼ねて開催し 200名の方々に参加いただきました。

○図録の発行

平成29年に実施した「東京写真月間 2017」を総括した図録を作成して、ご協力いただいた関係機関に配布すると共に関係各国大使館や図書館、美術館、ギャラリー、行政府等の公共機関にも無料提供しました。

又、「写真の日 記念写真展」入賞者等購入を希望する写真愛好家には一冊2,000円で頒布しました。

この「東京写真月間 2017」の開催にあたり、外務省、環境省、文化庁、東京都、在日本カンボジア王国大使館のご後援、各企業、団体からのご協賛、ご協力をいただきました。

## ○「大阪写真月間2017」を共催

大阪の写真文化の向上を目指す「大阪写真月間」は今年で15年目を迎え、下記内容の写真展等を実施しましたが、その趣旨に賛同し協賛金450,000円を協賛して応援しました。

- ① 小学生のための写真教室「親子で挑戦！モノクロ写真教室」 3月20日 ビジュアルアーツ専門学校  
参加人数:13名 一眼レフでモノクロフィルム現像プリント体験。 協力:富士フイルム(株)
- ② 写真家150人の一坪展」 5月28日～6月11日 7会場 参加者147名  
ニコンサロン bis 大阪、αプラザ大阪ギャラリースペース、キャンギャラリー大阪、富士フイルムフォトサロン  
大阪、ビジュアルアーツギャラリー、オリンパスギャラリー大阪
- ③ 大阪写真月間ハイスクールフォトアワード2017  
6月8日～14日 ニコンサロン bis 大阪 参加55校384作品  
平成28年度から日本写真協会会長賞を設定:6月11日香川県立坂出商業高校2年唐渡祐汰氏に授与
- ④ 写真展「私のこの一枚」 6月7日～12日 イロリ村[89]画廊 374作品
- ⑤ 森村泰昌氏講演会「写真が表すもの、写真に現れるもの」 参加者79名  
6月11日 アーツホール (大阪市北区ビジュアルアーツ専門学校新館3階)

## 3. 国際交流活動【国際交流委員会】・【写真月間委員会】

- ① 国際展「アジアの写真家たち2017カンボジア」(東京写真月間報告に記載)  
カンボジア王国大使チア・キムサ氏をはじめ国際展出展の写真家サンフォス・ジャッキー氏が来日し、交流。
- ② 日本からサハリンへ写真家5名を派遣・サハリン文化フェスティバルへ出展  
サハリン州政府文化・公文書省より要請のあった日本・サハリン写真文化交流について、日本からサハリン交流撮影会へPSJ写真家5名を5月28日～6月2日に派遣、撮影した写真はサハリン州文化省主催のサハリン文化フェスティバル(6月25日～9月)に出展。
- ③ 日本・モンゴル外交関係樹立45周年記念特別展「輝く日本！風土、伝統文化、人々」の開催  
10月11日～18日 開催場所: Q Art Gallery モンゴル国 ウランバートル市内)  
主催:モンゴル写真家協会 共催:(公社)日本写真協会「東京写真月間2017」実行委員会  
後援:モンゴル国大使館、モンゴル外務省  
出展写真家:今本 淳、加藤庸二、清水哲朗、寺沢孝毅、秦 達夫、沼田早苗、初瀬武美、福井憲男、松本佳子、  
MANA 野元学、山崎友也 他「写真の日」作品展より20名出展 合計150点展示  
10月11日の開会式に大平業務執行理事以下14名がウランバートル訪問、モンゴル写真家協会ガンゾリグ会長、  
モンゴル日本大使 高岡正人大使、モンゴル大統領日本担当外交特使 ドルゴルスレン ダグワドルジ(朝青龍)  
モンゴル外務省関係者と交流。
- ④ 日本写真協会賞新人賞の受賞作品を海外に紹介  
・コロンビア「Crown on the Earth」シリーズをコロンビア・バランキージャ国際写真ウィークに出展7月31日～8月5日  
・キューバ「Looking at Borders」シリーズを8月18日～9月18日にノバナのCasa de Asiaにて開催、8月18日には  
日本から写真家由良環氏が出席。  
平成30年2月21日～24日にサンクティ・スピリトゥスのグアイアベラの家にて開催。  
・ロシア「Looking at Borders」シリーズを8月9日～28日にモスクワ国立東洋美術館にて開催。  
平成30年2月14日～3月12日にノヴォシビルスクの州立美術館で開催。
- ⑤ 写真を通じての日本・キューバ文化交流  
1月に開催したキューバ撮影ツアーに参加した会員7名による写真展を10月5日～11日に新宿アイデムフォト  
ギャラリー「シリウス」でキューバ共和国大使館後援にて開催。
- ⑥ 中国撮影家協会の表敬訪問対応  
10月16日に中国撮影家協会社金副秘書長、事務局主任、国際部主任他3名の表敬訪問を受け、相互意見交流をは  
かった。

#### 4. 写真・映像教育の推進 【写真・映像教育推進委員会】

写真・映像教育の推進事業は、子供達に写真の楽しさ、面白さなど感動と親しみを目的に写真体験教室を実施し、29年度を含めて12年間で、274ヶ所、12,350名が参加しました。

##### 平成29年度実施状況

「手作りピンホールカメラ写真体験教室」:17ヶ所 参加人数 835名

「デジタル写真体験教室」:12ヶ所 参加人数 341名

計 29ヶ所 1,176名参加

##### ■平成29年度 写真体験教室実施状況

	会場・主催者	内容	開催日	対象	参加人数
1	小平中央公民館	デジタル	4月22日	小1～小5	32
2	多摩六都科学館	デジタル	4月23日	小1～小6	23
3	松沢小同窓会	デジタル	4月29日	小1～小5	75
4	中萩小学校	ピンホール	5月21日	小1～小6	36
5	川崎市立木月小学校生活科授業	デジタル	6月14、15日 7月14日	小学2年	54
6	九州写真師会連盟	ピンホール	7月11日	九写連会員実習	12
7	土門拳記念館	ピンホール	7月22日	小1～中3の親子	71
8	秦野市本町公民館	ピンホール	7月23日	小2～小6の親子	20
9	町田市フオサロン	ピンホール	7月26日、27日	小学生以上	30
10	熊本市写真の七光	ピンホール	7月29日、30日	小4～小6	10
11	金沢市いしかわ子ども交流センター	ピンホール	7月29日、30日	小学生の親子	90
12	世田谷区立松沢小サマースクール	ピンホール	8月2日	小3～小5	29
13	小平第四小学校放課後子ども教室	ピンホール	8月4日	小1～小6	56
14	兵庫県立ものづくり館	ピンホール	8月8日	小学生の親子	40
15	荒川区赤土小学校こにこスクール	ピンホール	8月10日	小1～小6	29
16	府中市生涯学習センター	ピンホール	8月18日	小1～小5	27
17	九州写真師会連盟大会 in 熊本	ピンホール	8月22日	小4～小6の親子	42
18	兵庫県河西市スタジオ栄光社	デジタル	8月24日	小1～小6	15
19	名古屋市科学館	ピンホール	8月26日、27日	小2～小6の親子	160
20	江東区立有明小学校	ピンホール	9月7日、8日	小学5年	97
21	神奈川県立瀬谷養護学校大和東分教室	ピンホール	9月26日	高等部1～3年	36
22	多摩六都科学館	ピンホール	10月7日、8日	小1～中2、大人	50
23	小平市立津田公民館	デジタル	10月14日	小1～小6	13
24	新宿区柏木子どもひろば	デジタル	10月25日	小1～小4	27
25	新宿区立余丁町子どもひろば	デジタル	11月29日	小1～小4	16
26	新宿区立花園子どもひろば	デジタル	2月28日	小1～小2	20
27	北区立滝野川子どもひろば	デジタル	3月24日	小学生と保護者	40
28	新宿区立戸塚第一子どもひろば	デジタル	3月27日(火)	小学生20～30名	13
29	新宿区立早稲田子どもひろば	デジタル	3月29日(木)	小学生20～30名	13
合計					1,176

##### ① ピンホール写真体験教室

写真・映像教育推進活動が学校関係者にも広く知られるようになり、小学校の生活科や総合的な学習の時間の正規授業としても行われました。東京都教育庁地域教育支援部発行の機関紙「とうきょうの地域教育」において、学校と連携協力し教育プログラムを実施した事例として江東区立小学校でのピンホール写真体験教室の様子が紹介され、学校支援に関わっている方々に広く知っていただく機会が持てました。

##### ② デジタル写真体験教室

デジタル写真教室では、プログラムの更なる充実を図り29件中12件の写真教室を実施しました。小学校から依頼を受け、カメラを通して「周囲の人との身近なふれ合いや地域とのかかわりを学ぶこと」や「表現することの楽しさ・面白さを体験すること」などをテーマとした教室を実施しました。子どもたちは自由に色々な被写体を追いかけて、大伸ばしの四切プリントに感動し、撮影意図についても的確な意見発表をする子どもが多く、楽しい体験ができた大変好評でした。

東京、神奈川など首都圏の教育支援事業として認知度を高め、写真映像教育への関心は大きな広がりを見せています。首都圏以外では、土門拳記念館(酒田市)、名古屋市科学館、兵庫県加西市、九州写真師会連盟の協力を得て熊本県玉名市、兵庫県写真師会の協力を得て姫路市、石川県写真館協会の協力を得て金沢市で小学生の親子を対象とした教室を実施しました。

## 5. 日本写真年鑑の発行 【出版広報委員会】

1958年(昭和33年)に創刊の、「日本写真年報」は編集発行业を《不特定多数の利益の増進》に資する公益事業とすべく年間の写真活動が長年にわたって継続集約された国内唯一の資料となっており、写真関係者はもとより、諸官庁、報道機関、教育機関、美術館、図書館など広く各方面より好評を得ています。2013年版から「日本写真年鑑」と名称変更し、約2倍に増ページして従来の写真業界の年報としての機能に年間を通じて写真界の幅広い情報を掲載。さらに一般読者に興味を持っていただけるような話題を盛り込み、2016年の写真活動状況をつぶさに記録すると共に、将来を展望する内容を追加。本書により老若男女すべての読者にとって、写真を通じて新たな発見が得られるよう2017年版・第60巻を6月1日に発行致しました。

## B. 共益事業

### 1. 会報等の発行 【出版広報委員会】

29年度は、季刊として年4回、5月・8月・11月・2月に469号～472号を発行し、各時点における協会の活動や今後の計画、写真文化情報などを紹介しました。

#### ・主要掲載記事

- 469号: 日本写真協会賞受賞者決定、「東京写真月間」「大阪写真月間」開幕、「キューバの風に触れて」、CP+2017
- 470号: 「作家賞大西みつぐさん」「新人賞鶴崎燃さん」「サハリン文化フェスティバル写真家交流派遣プログラムに参加して」
- 471号: 「澤田教一故郷と戦場展」「ボストン美術館アン・ニムラ・モース氏」「ユージン・スミスのMINAMATAとは」他
- 472号: 「インスタ映えってナニ?」「ドローン撮影の今」「日本・モンゴル外交関係樹立45周年展によせて」他

### 2. 日本写真協会賞受賞祝賀会 兼 叙勲・褒章祝賀式典 兼 東京写真月間レセプション 開催

【総務委員会・写真月間委員会】

6月5日に笹川記念会館において、日本写真協会賞表彰式及び当該年度の写真界における叙勲・褒章祝賀式典を行ない、引き続き受章祝賀会と東京写真月間レセプションを共同開催。会員の親睦を図る意図も含め「写真の日」事業の一環として開催しました。200名の方々に参加いただきました。

## C. 法人運営事業

### 1. 公的機関が主催する写真コンテスト・イベントへの参加協力 【総務委員会】・【写真月間委員会】

公益社団法人に移行後、公的機関等からの写真コンテスト・イベントの相談及び協力依頼に対応。

#### 第33回「写真の町東川町フォトフェスタ」へ事業協力

昨年、写真都市宣言をした、北海道、東川町主催の第33回「写真の町・東川町フォトフェスタ」(7月28日～30日)に東京写真月間2017で開催した「国内企画展」「写真の日記念写真展」の展示作品を東川町文化ギャラリーへ巡回して、協力しました。

### 2. 社員総会・理事会・総括運営委員会の開催 【総務委員会】

4月21日の第1回通常理事会において、平成28年度事業報告、貸借対照表および損益計算書の承認、定時社員総会開催内容を決定いたしました。6月14日に平成29年度定時社員総会を開催、議決権者1,727名、議決権行使931名(出席35名を含む)で平成28年度事業報告、平成29年度事業計画・予算を報告、平成28年度決算、役員任期満了に伴う改選、役員報酬総額を決定。同日終了後に第2回通常理事会を開催し代表理事会長・理事副会長・業務執行理事、会長の業務執行権代行者、名誉顧問及び顧問、役員報酬の支給方法を決定いたしました。平成30年3月16日に第3回通常理事会を開催、平成30年度事業計画、平成30年度予算、2018年日本写真協会賞決定を承認致しました。また、奇数月の5月15日、7月18日、9月19日、11月21日、1月16日、3月13日の6回、2ヵ月間の事業報告及び財務状況を代表理事会長、理事副会長に各委員会委員長が報告する総括運営委員会を開催。

### 3. コンプライアンス 【コンプライアンス委員会】・【総務委員会】

平成30年3月13日 コンプライアンス委員会を開催(大平業務執行理事、上田業務執行理事、井沢理事、松本理事)し、平成29年度の公益事業に関し点検及び、政府の働き方改革に沿って当協会職員の就業規則についての点検を実施。

### 4. 展覧会等の後援 【総務委員会】

当協会は公的機関や学校教育機関、マスコミ、写真関係団体等が主催し、内容が文化、教育、国際交流に寄与する写真展等に対して後援・協賛・協力を行っていますが、平成29年度は以下の催事をバックアップしました。

	申請者(≠主催者)	写真展名	会期・場所
1	アイデムフォトギャラリー「シリウス」	徒然なるままに 花紀行II	4月27日～5月10日 アイデムフォトギャラリー「シリウス」
2	フォトグループいぶき	第6回「四季のいぶき」展 【協力】	6月23日～6月29日 富士フィルムフォトサロン(六本木)、7月7日～19日 富士フォトギャラリー(調布)
3	株式会社プロメディア	PHOTONEXT 2017 【協力】	6月20日～21日 パシフィコ横浜
4	長野県阿智村	第20回熊谷元一写真賞コンクール	応募締切9月20日、表彰式は11月に阿智村で開催予定
5	日本山岳写真協会	日本山岳写真協会展 2017-山・われらをめぐる世界	8月31日～9月8日 東京都美術館 公募展示室・講堂 平成30年3月予定 京都市美術館本館
6	相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら実行委員会	相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2017	4月1日～平成30年3月31日 相模原市民ギャラリー他
7	日本写真学会・写真感光材料工業会	「2017年度 PHOTONEXT 技術アカデミー」【協力】	6月20日 パシフィコ横浜
8	IWAHASHI ROCKIES FORUM	平成29年度安曇野市豊科近代美術館 春の特別展 安曇野市豊科近代美術館 25周年記念 岩橋崇至「大地の貌」	4月28日～6月4日 安曇野市豊科近代美術館
9	朝日新聞社	世界報道写真展2017	6月10日～8月6日 東京都写真美術館、8月8日～8月17日 ハービスHALL、8月20日～9月3日 イオンモール広島府中、9月6日～9月18日 イオンレイクタウンkaz e、9月21日～10月1日 立命館大学びわこ・くさつキャンパス、10月3日～10月27日 立命館大学国際平和ミュージアム、10月30日～11月12日 立命館大学アジア太平洋大学
10	礼文島観光協会	2017 彩北航路フォトコンテスト	募集:5月1日～9月30日 催事場所:利札航路
11	「こっぽんー大使たちの視線」写真展 実行委員会	「こっぽんー大使たちの視線 1998-2017」回顧展 “Japan through Diplomats’ Eyes”	5月11日～25日 キヤノンオープンギャラリー
12	東川町写真の町実行委員会	第33回東川町国際写真フェスティバル(フォトフェスタ2017)	7月29日～8月30日 東川町町内一円
13	生きもの写真トリリーグ実行委員会	「第3回生きもの写真トリリーグ」写真コンテスト	5月1日～7月10日作品募集、8月5日～9月3日長野県小諸高原美術館にて展示
14	日本放送協会学園	第1回NHK 学園「四季の写真展」	8月30日～9月4日 みなとみらいギャラリー
15	山岳写真同人四季	山岳写真同人四季創立50周年記念 写真展・写真集発行『八ヶ岳』	6月21日～7月4日 新宿ヒルトピア、7月13日～20日 富士フィルムフォトサロン名古屋、7月22日～8月3日 茅野市美術館
16	一般社団法人 日本写真学会天体写真技術セミナー実行委員会	第2回天体写真技術セミナー 【協力】	7月10日 13:30～17:30 富士フィルム(株)東京ミッドタウン 本社2階 201A・B会議室
17	一般社団法人カメラ映像機器工業会	「CP+ 2018」 【協力】	平成30年3月1日～3月4日 パシフィコ横浜
18	公益財団法人 土門拳記念館	写真展「わたしのこの一枚」【協力】	10月1日～22日 土門拳記念館
19	「こっぽんー大使たちの視線」写真展 実行委員会	「こっぽんー大使たちの視線 2017」写真展 “Japan -a country of contrasts- through Diplomats’ Eyes”	10月3日～9日 六本木ヒルズ ヒルズカフェ、12月1日～平成30年1月12日 ひょうご国際プラザ 交流ギャラリー、2月16日～25日 名古屋セントラルパーク 平成30年9月予定 東川町文化ギャラリー

	申請者(≠主催者)	写真展名	会期・場所
20	(株)クレヴィス	「生誕100年ユージン・スミス写真展」	11月25日～平成30年1月28日 東京都写真美術館地下1階展示室
21	月刊誌 DAYS JAPAN NPO 法人広河隆一写真展事務局	広河隆一 戦場の子どもたち	平成30年3月8日～17日 東京芸術劇場 ギャラリー2
22	日本神輿協会	第十五回大江戸神輿まつり IN 木場公園・第11回フォトコンテスト 【協力】	第十五回大江戸神輿まつり IN 木場公園 10月15日 東京木場公園・第11回フォトコンテスト 11月14日～18日 木場公園ミドリアム
23	一般社団法人 日本現代写真家協会	特別展「写真展 よみがえる明治の日本」 歴史講座①ピンホールカメラを写そう。	10月21日 宇治市歴史資料館
24	一般社団法人日本写真文化協会	「第64回全国展フォトコンテスト」	平成30年5月28日～6月3日 東京都美術館、9月21日～26日 富士フィルムフォトサロン札幌、10月5日～11日 富士フィルムフォトサロン大阪、10月19日～24日 富士フィルムフォトサロン福岡、12月20日～26日 ポートレートギャラリー
25	日本放送協会学園	「第28回NHK 学園生涯学習写真展」	平成30年2月2日～2月8日 富士フィルムフォトサロン 東京
26	デイズ・ジャパン(株)	「DAYS 国際フォトジャーナリズム大賞2018」	平成30年1月～12月
27	日中写真交流協会	第二回日中写真交流協会企画展「美しい中国・美しい日本」	平成30年1月10日～19日 中国文化センター
28	中国写真家作品日本巡回展推進委員会	第三回中国写真家作品日本巡回展	12月24日～28日 上田市立美術館 サントミュージゼ多目的ルーム

## 附属明細書

該当事項がないため、記載を省略しております。

以上